恵みと真理のニュース



2017年3月の一次 恵みと真理教会

韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / 2382-31-443-3731 / www.gntc.net

イエス様を受け入れた後、旦那の重い病気が治療されまた 熱心に主の事すると家庭が常によくなる福を受けました

私の婚家は旦那が幼い頃しばらくお寺で小僧で過ごすほど偶像崇拝をしました。旦那は大人になっても偶像崇拝をしました。イエス様を信じなかった私も旦那をついて20年間をお寺に通いました。108拝をすると仏さまが家庭を守ってくださることを信じて夜を明かして拝をしました。また、多くの人々をお寺に連れて行って偶像崇拝をするようにさせました。周りの人々が教会に行こうと伝道しましたが、福音には耳を閉じました。

|証|

仏教で一番大きい本部があるソウルで有名な寺で100日のお拝む会に参加して最後で名前が知られている法師が法会を導く日でした。いつものようい拝む時に私の口から"父なる神様、主よ。"出てしまいました。そう言って自分もびっくりして"私が狂ったのか。なぜ私の口からそのように話せるのだろう?"恐れました。どころが、法会が終わるまで私の意志と関係なく"主よ、主よ。"続けてイエス様を探すのが終わらなかったです。まことに驚くな事でした。

その以後から伝道士が伝える福音に関心を持つようになりました。イエス様を信じなくては生きられないように思って教会に行ってみました。旦那と共に教会に行こうと誘いましたが、かっと怒りました。今まで通っていたお寺を辞めて教会に行くと命が危ないと脅かしました。仕方なく秘かに教会を通い始めました。

三か月間一人で教会を通いながらついに旦那と家族にばれました。私によって家がうるさかのたですったです。旦那に5人の子供達とあなたを会えなくても、世界に話しました。すると大胆に話しました。すると大胆に話しました。すると大胆に話しました。すると、気がしなくて冬の寒い天気に服もあまり気なてひそかに教会を通っていた私にあたたかい服を買くているかに教会を通っていた和にあたたかい服を買いてくれました。イエス様を受け入れて熱心に神様を受け入れて熱心に一番先に教会に通っていた二番目のでは、で表達をついて一番先に教会に通っていた二番目のに行っているのに息子がどうして教会に通うことが思いだしました。 第4が熱心に行っているのに息子がどうして教会に通うことが思いだしました。 第4が熱にもいるのか。すぐやめなさい。"と言った私に息子は、

お母さん、続けて偶像崇拝をすると地獄に行きます。 お母さんもぜひイエス様を信じて私と共に天国に行き ましょう。"と言った息子の話が今も生々しく耳から 聞こえます。神様の恵みを受けて息子の心を知るまで そんなに長い時間がかからなかったです。

以前から続いてきた様々な家の問題と貧しさがイエス様を受け入れた初信者の時まで苦しめました。弱よわり目めにたたり目で旦那が結核性の喉頭炎にかかって病院でも手を放す状況になり山の村の屋根裏で横たわって尾下の世話しました。死んだ人のような姿の旦那を見ると絶望してこれからどう生きのか、前が見えなかったです。旦那はもう49歳で私一人で5人の子供たちをどう育てるのかと眠られなかったです。

毎日のように布団をかけて泣きながら神様に祈りました。子供たちが学校に行ってから帰るまで布団をかけて泣き叫びながら祈った私の姿を見て子供たちが学校に行ってから帰るまで・中で泣き叫びながら祈った私の姿を見て子供たちがらないでした。そのように泣いてした。全部でした。から立いてがら立いてがりました。驚くな奇跡が起こりました。がら泣いて祈りました。驚で横たわって46日ぶりよした。日が生きときしました。ハレルヤ!今もその感激が変けます。ヒゼキヤ王は神様がくださった胸が熱くなります。ヒゼキヤ王は神様がくださった胸が熱くなります。ヒゼキヤ王は神様がくださった胸がれるで15年間生きられましたが、旦那はその15年を超えるまで生きています。神様の権能と驚くな治療の規制を見て旦那はイエス様を受け入れました。

私はイエス様を受け入れた後、聖霊に満たしてくださって特に主日礼拝は一回も休まなく大きいと喜びで礼拝を捧げています。私が伝道に最善を尽くしたで尊いと域長の職分を受けて家に帰るとき、私が伝道の対象としていつも祈っていた優しい人が急に込み箱を投げているがありました。な行動を下の方聞いたら自分も知らないと答えましてな行動を下の方聞いたと思ってもっと祈りと献身してきっとサタンの妨げだと思ってもっとが出来ました。熱心に神様に礼拝を捧げて伝道し献身するいました。

寝ている中で天井に様々な動物の絵が張ってあり、その動物の子たちが群れをして歩き回る奇異な夢をみました。本当に奇異なことはその夢をみた後、家庭に健康と平安と福が与えられたのです。山の村で間借り生活をした私にその時から神様は大きくて美しい家に対す希望を持つようになって祈るようにさせました。

私と違て旦那は初めはそんな祈りは必要もないし無駄な事だと話しました。しかし、主は旦那に奇跡を体験してくださり、どんどん自分の家で生活しながら家庭礼拝を捧げるように恵みを与えてくださいました。私たちの力と能力だけではどうしてもできない事を行ったのです。神様が導いてくださって経済的にも余裕がある生活をするようになって子供達も進路と就職も順調よく成し遂げられました。

豊かになると私たちの夫婦は田園生活をしたくて田 舎で家を建て住み始め撒いた。ところが時間に経って どんどん田園生活が楽しくなくて心が困苦になり体も 痛くなりました。教会が遠くて主日の以外には平日礼 拝には参席が難しかったです。結局御言葉の中心、教 会の中心の生活していた事が懐かしくて2年ぶりに家 を処分して再び戻ってきました。そして、以前のよう に熱心に教会を通い牧師の説教を聴くと心がすっかり して魂が健康になることを深く感じて熱心に伝道する ようになりました。地域の関係なく一番先で伝道をす る重要な任務を受けて魂がイエス様を受け入れるよう に伝道を力を尽くしました。多く習えなくて話すも上 手ではない私を聖霊がこんな私と共にいてくださり、 伝道にも実りが出来てその区域のようにリバイバルを しまし。いくら考えても信じられない聖霊様の驚くな 働きでした。 たくさんの世が経って私の夫婦も体が 弱くなりました。しかい、イエス様を考えると新しい 力がだして何も問題がなかったです。イエス様がまた 来る日を考えて毎日のように神様に感謝しています。 この証を私が体験の次の確証で終わります. "私たち はどんな状況でも相変わらずイエス様を愛し伝道と主 の事に力を尽くしていつも神様が共に行ってください ます。神様がすべての事が益となるように平安と様々 な福を豊かに与えてくださいます。アーメン



[信仰コラム] 私から離れては、あなたがたは何一つできない

"...もし人がわたしにつながっており、またわたしがその人とつながっておれば、その人は実を豊かに結ぶようになる。わたしから離れては、あなたがたは何一つできないからである。..."(ヨハネの福音書 15:5、6)

"イエス様から離れては何もできない"というお言葉に対して人々の反応は一致しません。イエス様を信じる方々は当たり前のお言葉に扱うでしょう。その一方、非キリスト人はあざ笑い反発するでしょう。人々の反応はどうであれ、このお言葉が確固不動の真理であるという事実は変わりありません。

イエス様が "わたしから離れては、あなたがたは何一つできないからである。 "と言われたお言葉はイエス様と関連して様々な部類の人がいることを話してくれます。

6 一番目の部類は、イエス様に対して聞いたことがなくて知っていることがない人、イエス様を信じるのを拒む人々です。二番目の部類は、自分はキリスト教人だと考えるが聖書通りにイエス様を信じず、自分が願う通りに信じる人々です。三番目の部類は、イエス様と不可分の関係にある人々です。イエス様はこのような関係を私達がイエス様につながっいて、イエス様が私達につながっておられることで形容なさいました。全ての人が本性では罪と偽り、不義で満たされています。このような本質が変化されるためにはまず、自分が罪人であるという事実と罪人は神様の怒りと審判を受け

て地獄刑罰に処されるということを悟らなければなりません。そして私達の罪を代わりに担って十字架につけられて死なれ、三日目に蘇られたイエス様を自合の救い主として信じ、迎接すべきです。そうするとがイエス様につながってイエス様が自分人につられる神秘的な連合が叶えられる神るとがは現していまる。 "というイエスをは何一つきないからである。"というイエスをがたは何一つきないからである。"というイエスがたは何一つきないからである。"というイエスにのお言葉は私達がどのような意識を持って生活しているかを明示しています。

第一、"わたしから離れては"という言葉は"イエス キリストの恵みから離れては"という意味があります。 アダムの犯罪で全ての人が罪人になったので人々には 罪の意識があります。神様から離れて人本主義で生き ていく人生達は罪と罪責を人間の方法で解決できると いう妄想に耽けています。しかし、イエスキリストが 私達の罪を贖ってくださいました。そして、これを信 じる全ての者を正しい人にさせてくださいます。これ がイエスキリストの恵みです。キリストから離れても 私が正しくなることができると考える以上、罪と呪い から離れることができず審判と永遠な滅びを免れるこ とができません。枝が木につながって津液を受けるこ とで生命を得るように私達はキリストがくださる恵み を受けてこそ正しくなります。私達が信仰と望み、愛 で生きていくことも艱難と逼迫、誘惑を耐えて克服す ることも主の恵みが臨んだので可能なのです。イエス キリストの恵みから離れるとまるで魚が水を離れたよ うなことになります。

第二、"わたしから離れては"という言葉は"主の思 いから離れては"という意味があります。私達がある 問題に遭うとまず、現実状況がどうであるか、自分に これを耐えることができる能力があるかを考えます。 もちろん、このようなことを十分に考慮すべきです。 しかし、それより優先されなければならないのは主の 思いは何であるかを尋ねることです。主が願うならば 状況や私達の能力は問題になりません。聖書にこのよ うな原則を教訓する事件が記録されています。ギデオ ンが 300 人の勇士をつれて 13 万 5 千人のミデアン対 敵を退けて大きな勝利を得た事件は勝利が数や武器に あるのではなく神様の思いにかかっていることを見せ てくれます。ベッセダ広野で五つの餅と二匹の魚で行 われた奇跡は彼らが直面した状況や弟子達の能力より 重大なのは主の思いが何であるかということだと教訓 してくれます。

そして "わたしから離れては、あなたがたは何一つできないからである"というお言葉には主の思いを無視して行うことは無駄になってしまうという教訓があります。状況や能力より重要なのは主の思いを知ってその思いの中で行うことです。"わたしから離れては、あなたがたは何一つできないからである"というお言葉は"イエス様の中ではあなたがたが何でもできる"というお言葉と同様です。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム '緑の牧場、清い川'本の語り中」

恵みと真理教会 チョヨンモク 牧師

正常な人には多様な関心事があります。 ー時のな関心事があるとおりまがありますのりますののでも関心を持たなければなことがあります。 その中でも一番重大す。 現のでする できないできないできなができなができるとができるができるができるができるができるがのです。 関心はあるがこれを得る人でです。 関心はあるがこれを幸ならまれたの種類の不幸な人がいないをもののの場は名者ではなりりまるとにその人です。

イエス様が親しくおっしゃるのを "わたしに むかって『主よ、主よ』と言う者が、みな天国 にはいるのではなく、ただ、天にいますわが父 の御旨を行う者だけが、はいるのである。" (マタイによる福音書 7:21) しました。 救い を得て天国に入ることは難しくて大変ではない です。 "なぜなら、「主の御名を呼び求める 者は、すべて救われる」とあるからであ る。"(ローマ人への手紙 10:13)で聖書に記録 されました。 ところで今日の本文のお言葉に は "わたしにむかって『主よ、主よ』と言う 者が、みな天国にはいるのではなく、ただ、天 にいますわが父の御旨を行う者だけが、はいる のである。"(マタイによる福音書 7:21) しま した。 二つのお言葉は相反して矛盾であるこ とのように考えられます。 しかし二つのお言 葉は決して二律背反ではないです。 神様の名 前を呼ぶことの意味を明らかにさせるのです。 ここで言う神様はイエス様を示します。 イエ ス様を神様だと呼ぶのが救いを得ることができ ない人がいるというお話に私たちが留意しなけ ればなりません。 神様の名前を呼んでからも 救いを得ることができない人を三つの部類で分 けてよく見ます。

第一、毒麦の信者がいます。

マタイによる福音書 13 章にイエス様の天国比 喩の中に毒麦の比喩があります。 畑に小麦を 植えば小麦だけ生えるのではなく毒麦も生えま す。 毒麦は伸びる間には小麦と分別しにくい です。 しかし穂が生れば易しく分別になりま す。 伸びる間に小麦と毒麦の根がお互いに練 れるから毒麦を抜けば 小麦も抜かれる恐れが あるので仕方なく秋収の時まではほったらかす ようになります。 しかし秋収の時には小麦を おさめて倉庫に入れて毒麦は集めて燃やします。 真のクリスチンではない人がクリスチンのよう に行世することができるが将来には必ず分離し ます。 最後の審判の時はイエス様によって徹 底的に区分されて処理されます。 教会の中に は真実の信者と似以非信者が混ざっています。 しかし真の信者と似以非信者を分別するのが容 易くないです。 だから速断しないようにしな ければなりません。 毒麦はイエス様の中心で はなくて自分の中心に判断して行動します。

天国に入ることができない信者

教会中心ではなくて自分の中心に判断して行動します。 毒麦の信者はこのようにイエス様中心、教会中心に判断して行動しなければならないのを教えてくれてもきかないです。

適切な例があります。 カリオテユダです。 彼 はイエス様の12弟子の中の一りでした。 カ リオテユダは三年間ずっとイエス様を従って通 いました。 イエス様が弟子におっしゃいまし た。 "特にあなたがたに言っておくが、あな たがたのうちのひとりが、わたしを裏切ろうと している"弟子が心配して "イエス様、私で すか?" しました。 イエス様が答えるのを "弟子たちは非常に心配して、つぎつぎに「主 よ、まさか、わたしではないでしょう」と言い 出した。イエスは答えて言われた、「わたしと 一緒に同じ鉢に手を入れている者が、わたしを 裏切ろうとしている。たしかに人の子は、自分 について書いてあるとおりに去って行く。しか し、人の子を裏切るその人は、わざわいである。 その人は生れなかった方が、彼のためによかっ たであろう」。" しました。 カリオテユダに 言うのを "イエスを裏切ったユダが答えて言 った、「先生、まさか、わたしではないでしょ う」。イエスは言われた、「いや、あなた だ」。" しました。 ヨハネがイエス様の胸に そのままよったまま "主よ、彼が誰ですか?" したらイエス様が答えるのを "私がパン切れ を濡れて与える人がまさにその人だ。"そし てパン切れを酢に濡らしてカリオテユダにくだ さいました。 イエス様がなさったこんな話を 聞きしたカリオテユダに自分の心と行動に対し て見直して見るようにするに十分です。

しかしカリオテユダは全然感動を受けなかったです。 カリオテユダにパン切れを受けるとサタンが彼に入って行ったと聖書に記録されています

イエス様は引き継いでユダに "あなたの仕事 を速くしなさい。" しました。 いくら強心臓 の人でもここではつい自分の計画を投げ捨てる ようなのにカリオテユダは顔色も変わらないで 心に決めたとおり事を進行して行きました。 悪魔の支配を受ければ振り返えることができな い境地に至るということを見せてくれる証拠で す。 遂にカリオテユダはイエス様を銀三十に 売ってしまいました。 それからは結局首を掛 けてしまいました。 イエス様が親しくおっし ゃるのを "わたしにむかって『主よ、主よ』 と言う者が、みな天国にはいるのではなく、た だ、天にいますわが父の御旨を行う者だけが、 はいるのである。"(マタイによる福音書 7:21) しました。 カリオテユダはイエス様を 向けて "主よ 主よ"と呼んだものがイエス様 を自分の欲心を満たすための手段で思いました。 彼は毒麦でした。

第二、中身のないもの信者がいます。

中身のないものはイエス様が人間の罪をあがないするために十字架に釘付けられた事がでさなくたまらなかったということを信じないです。中身のないものはイエス様が葬られになってから三日ぶりに墓で復活した事実を信じないです。中身のないものは天国の存在を否定します。このように中身のないもの信者です。中身のないものは火に投げられるように中身のないものはわずか硫黄が燃える池に投げられます

第三、糠のような信者がいます。

糠は穀食の表皮です。 表皮は中身と付いてい るがいつかは分離します。 強圧と体面のため 教会に通う人がいます。 キリスト教の家庭で 生まれて親の強圧のためかあるいは体面のため で教会に通って聖書も読んで讃尿も呼んで祈祷 もします。 しかし自分の心を開いてイエス様 を救世主に迎接しないです。 このような人は 親の影響力を脱すれば信仰を捨てて教会を去っ て発ちます。 私的な利益を取ろうとする目的 に教会に出席してイエス様を "主よ、主よ" と呼ぶ人は自分のこころざしを果たすことがで きなければ教会を立ち去ってしまいます。 こ のような人々は糠のような信者です。 糠のよ うな信者でも "主よ、主よ" として呼ぶ時は 区別しにくいです。 しかしこんな信仰生活を 長く維持することができずにいつかは離れます。 イエス様がおっしゃるのを "その日には、多 くの者が、わたしにむかって『主よ、主よ、わ たしたちはあなたの名によって預言したではあ りませんか。また、あなたの名によって悪霊を 追い出し、あなたの名によって多くの力あるわ ざを行ったではありませんか』と言うであろう。 そのとき、わたしは彼らにはっきり、こう言お う、『あなたがたを全く知らない。不法を働く 者どもよ、行ってしまえ』"(マタイによる福 音書 7:22, 23) しました。

私たちの信仰は天にいらっしゃる父の御旨に適 わなければなりません。 父の御旨は聖書に啓 示されていてイエス様にあって現われています。 イエス様は聖子神様で罪人をあがないするため に童貞女マリアの身に聖霊に孕胎されて世の中 へいらっしゃいました。 人間のとがと罪を担 当して十字架に釘付けられる事ができなく血を 流れてたまらなかったが三日ぶりに死亡の権勢 を勝って復活したし天に昇りなさいました。 今イエス様は神様の御座の右にいらっしゃって 私たちのために祈ります。 しかし時になれば またいらっしゃって私たちを新しいエルサレム へ導いて永遠に神様とともに暮すようになりま す。 こんな信仰を持った信者は誰も関心事に 驚くべきな変化が生じます。 この世の中に生 きるうちに最高の関心事が教会でまた天国です。

この世の中にはイエス様を向けて "主よ 主 よ"と呼ぶ人が多いです。 ところでそののような人皆が天国にすべて入って行くのののののののののです。 "それは、信仰の結果なるたましいの教をでいるからである。"(ペテロの第一の手紙 1:9)しました。 救いを受けることができなかったら、永生で得ることができなかったらその信仰は無事で表した。 水生を得るのです。 聖徒の関いします。 かました。 水生を得るのです。 聖徒の関心の事で最高の関心事になるように願いします。